

**平成 30 年度版「高等学校古典 B 古文編 [改訂版]」指導書
訂正のお願い**

平成 30 年度版高等学校古典 B 教科書「高等学校古典 B 古文編 [改訂版]」指導書に訂正がございます。

先生方や生徒の皆さまにはご迷惑をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

ご指導の際には、ご留意くださいますようお願い申し上げます。

■「高等学校古典 B 古文編 [改訂版]」指導書

分冊	頁	行	原文	修正文
①	118	1	つる 助動(存続・連体)	つる 助動(完了・連体)
①	170	3	申す 動(丁寧・サ四・連体)	申す 動(謙讓・サ四・連体)
①	240	6	仕うまつり 補動(謙讓・ラ四・連用)	仕うまつり 動(謙讓・ラ四・連用)
①	240	口語訳 5	親王のもとに参上し <u>申し上げた</u> が	親王のもとに参上し <u>お仕え申し上げた</u> が
①	339	上 12	断定の助動詞「ぬ」の連用形、	断定の助動詞「なり」の連用形、
②	48	9	に 助動(断定・連用・結流)	に 助動(断定・連用)
②	48	11	語り手→ <u>桐壺更衣</u>	語り手→ <u>母北の方</u>
②	48	11	けれ 助動(過去・已然)	けれ 助動(過去・已然・結流)
②	237	上	※手引き「一」に関する記述が教科書と非対応になっている。	※教科書に対応した記述に
③	320	下	※手引き「三」に関する記述がない。	※記述を追加
④	122	6	申さ 動(サ四・未然)	申さ 動(謙讓・サ四・未然)
④	123	口語訳 4	入道殿のことは <u>言う</u> までもなく、	入道殿のことは <u>申し上げる</u> までもなく、
④	133	中 9	L3 さらに <u>申さず</u> <u>言う</u> までもなく。	L3 さらに <u>申さず</u> <u>申し上げる</u> までもなく。
④	133	中 12	もちろん、 <u>言う</u> までもなく	もちろん、 <u>申し上げる</u> までもなく